

事業概要

児童虐待を早期に発見する視点と虐待事例を通して適切な対応について学ぶことを通して、支援体制の充実と保育士・教員等の対応能力の向上を図る。

期待される効果

児童虐待の早期発見、早期対応による支援体制の充実と保育者等の対応能力向上を図ることができる。

現状・課題

- ・平成24年度の虐待通告件数299件のうち、認定し対応した件数は153件となっており、深刻な状況である。
- ・児童虐待の背景が複雑化する中で、関係機関との連携等、組織としての対応が必要である。

事業目標

- ・乳幼児虐待への理解促進による適切な対応
- ・関係機関との連携の充実
- ・児童虐待に関する研修会参加者数100名
- ・実施後のアンケートで「今後の取組に役立った」の数80%以上

実施内容

25年度

- 県内3会場で研修会の実施
 - ・国及び本県の現状
 - ・早期対応の必要性
 - ・虐待チェック表の紹介
 - ・虐待事例を通じた適切な対応のあり方

26年度

- 中央児童相談所との連携
- 1会場(いの町)で研修会の実施
 - 講話と演習
 - ・国及び本県の現状について
 - ・早期発見につなげる子どもの見方
 - ・虐待事例を通じた適切な対応のあり方など

